

# 子どもの確かな学力を育成するために 帯広市立啓西小学校



子どもの学ぶ力の育成には、学校での学習とともに子どもが毎日学習に取り組める家庭環境を整えることも必要です。子どもの力を高めるために、家族のふれあいを増やし、生活リズムを整えましょう。

下記には、家庭生活のポイントとなることをご紹介します。家族で話し合い、できることを決めて取り組みましょう。

## 家族のふれあいを

## 生活リズムを

## 家庭学習の習慣化を

生活リズムの目標を書きましょう。

家庭学習の目標を書きましょう。

### 親子でいっしょに

- ① 会話をしよう。
- ② お手伝いをしよう。
- ③ 本を読もう。
- ④ 約束を守ろう。
- ⑤ 学習の準備をしよう。

- ① 朝食をしっかり食べよう。
- ② テレビやゲームの時間を決めよう。
- ③ 早寝・早起きをしよう。
- ④ 体を動かす遊びをしよう。
- ⑤ 寝る前に次の日の準備を済ませよう。

### きまりを考えよう (勉強と遊びの時間の区別)

高学年(5,6年生) (※60分以上)  
予定を立て、自分で学習を進める。

子どもに学習時間を考えさせ、終わりまで集中して取り組むように声掛けをしましょう。1週間の学習を見通して、計画的に学習に取り組む力をつけることも大切です。

中学年(3,4年生) (※約60分)  
宿題以外の学習にも取り組む。

授業以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていきましょう。自律心や学習への集中力を育てることもなります。

低学年(1,2年生) (※約30分)  
家庭学習の習慣を身に付ける。

課題を最後までやったかどうかを必ず家族の目で確認しましょう。テレビやゲームも時間をきちんと守らせましょう。何度もねばり強く働きかけることが大切です。

○子どもが進んで学ぼうとする力は、子どもが自分の人生の目標に向かって豊かに生きようとする力でもあります。  
○家庭での学びの環境づくりは、子どもの未来に対する大人社会の重要な課題です。

(※各学年に合わせた家庭学習の手引きを作りました。これを参考に、宿題以外の学習にも取り組み、低・中・高のめやすとする学習の充実を図りましょう。)